

## 「2018年度 あいちの県民経済計算」の概要

2018年度の愛知県経済は、通商問題等による後半からの世界経済の影響もあって、鉱工業生産指数は前年と比べわずかに低下したものの、輸出は引き続き増加し、企業収益も高水準を維持しました。その結果、経済成長率は名目1.6%（2017年度2.3%）、実質1.9%（同3.0%）となり、名目では2年連続のプラス、実質では4年連続のプラスとなりました。

### 主要指標

- 愛知県の経済規模を示す県内総生産（名目） 40兆9372億円（前年度40兆2755億円、前年度比1.6%増）
  - ・ 国内総生産(GDP)に対する全国シェア 7.5%（前年度7.4%）
- 物価変動分を除いた実質経済成長率 1.9%（前年度3.0%）
  - ・ 4年連続のプラス成長となり、国の実質経済成長率（0.3%）を上回った。
- 所得水準を示す一人当たり県民所得\* 372万7千円（前年度369万4千円、前年度比0.9%増）
  - ・ 一人当たり国民所得（319万8千円）を16.5%上回っている。

※県民所得を県人口で割った指標で、賃金に相当する雇用者報酬のほかに、企業所得を含む。

### 1 県内総生産（生産側、実質）[p. 3-5]

- (1) 製造業は、主力の輸送用機械が前年度比2.7%、電気機械が同28.5%それぞれ増加するなど、全体で同4.5%増となった。
- (2) 非製造業は、保健衛生・社会事業が同4.0%、運輸・郵便業が同1.4%、情報通信業が同3.7%それぞれ増加した。

### 2 県民所得（分配、名目）[p. 6-7]

- (1) 県民雇用者報酬は、前年度比2.4%増と7年連続で増加した。
- (2) 企業所得は、民間法人企業所得が同3.9%減少し、全体で同3.0%減と2年ぶりの減少となった。

### 3 県内総生産（支出側、実質）[p. 8-10]

- (1) 民間最終消費支出は、前年度比0.3%減と4年ぶりの減少となった。
- (2) 県内総資本形成は、中心となる民間企業設備投資が同2.0%増加し、全体で同0.4%増となった。

### 4 国際比較 [p. 11]

愛知県の県内総生産の経済規模は、イスラエルと南アフリカの間の世界で33位に相当する（前年度は30位）。

なお、都道府県順位は、未公表の都道府県があるため未確定（前年度は東京都に次いで2位）。

※県民経済計算は、国民経済計算の考え方や仕組みを援用し、県域における経済活動を生産、分配、支出の三面からマクロ的にとらえ、県経済の規模、循環及び構造を体系的・計量的に把握したものです。